

## スーパースポーツ「YZF750R/SP」の紹介

Super Sports "YZF750R/SP"

三輪 邦彦\*

Kunihiro Miwa

瀧本 宏\*

Hiroshi Takimoto

川北 茂樹\*\*

Shigeki Kawakita

田中 陽\*\*

Akira Tanaka

竹上 政喜\*\*\*

Masaki Takegami

## 1 はじめに

当社には、'89年にOW01をレース用ベースマシンとして限定生産して以来、一般ユーザーを対象とした750ccスーパースポーツの量産モデルは生産してこなかったが、'93年よりこの度欧州スーパースポーツのイメージリーダーとしてYZF750R/SPの投入を開始したのでここに紹介する。(写真1)



写真1 '95 YZF750SP

## 2 開発の狙い

OW01は、レース出場を前提として設計したマシンであったのに対し、YZF750Rは欧州のワインディング走行をメインに仕様決定がなされた。一方でレース出場するユーザーに安価にベースマシンを供給する要求にも応えるため、STD仕様とSP仕様も設定することとした。'93モデルは、ハンドリング性能と中速域でのエンジン性能で好評価を得たが、'95モデルではさらにこの強みを増強すべく、以下の項目を開発のコンセプトとした。

- ①好評点であるハンドリング面、エンジン性能をさらに向上させる。
- ②市場コンプレインに細かな対応をする。
- ③新規性、商品力の向上を狙って外観を変更し、オーリンスサスペンションを採用する。

## 3 エンジン関係(図1)

'93モデルは、OW01で使用した水冷並列4気筒エンジンに、8時間耐久用F1マシンのノウハウを傾注したものである。バルブレイアウト、クラシクの軽量化をはじめ、吸排気系、ミッションの全面見直しを実施した。

'95モデルでは、より高性能と低燃費を高次元でバランスさせるべく、次の改良を行った。

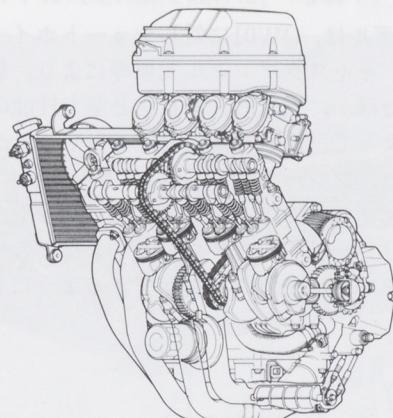


図1 エンジン外観図

## ①キャブレターセッティングの変更

メイン系の見直しにより、大口径キャブの欠点であるレスポンスの鈍さを改良した。

## ②スロットルポジションセンサ(TPS)及びギヤポジションセンサ(GPS)の採用

これまで、エンジン回転数のみでコントロールしてきた点火時期とEXUP開度を、スロットル開度とギヤ段数情報によって多面的にコントロールするものである。急加速時、極低開度時などにも対応できる点火、EXUP特性の設定により、高性能と低燃費の両立が可能となった。(図2)

## ③冷却系の改良

ラウンドタイプラジエタにデュアルファンを装着し、冷却系の効率向上を図った。

\* モーターサイクル事業本部 第1開発部

\*\* モーターサイクル事業本部 第3開発部

\*\*\* モーターサイクル事業本部 第4開発部

以上のような見直しの結果、'93モデルに対し、中高速域のドライバビリティが向上し、さらに4~6%程度の燃費改善を図ることができた。

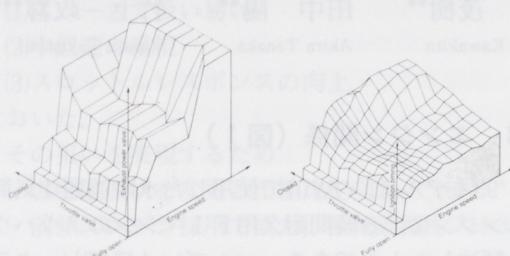


図2 EXUPと点火時期のマップ

#### 4 車体関係

'93モデルは、OW01に対しショートホイールベース化、キャスター・アングル変更等により、旋回性を上げたほか、徹底的な軽量化と空力性能の作り込みによって、優れた走行性能を得ることができた。また、ブレーキ回りでは、フロント側にφ320 フローティングダブルディスクに6ポットタイプのキャリパを装着し、アウトバーンなどの全開走行下においても十分な制動ができるようにした。(図3)

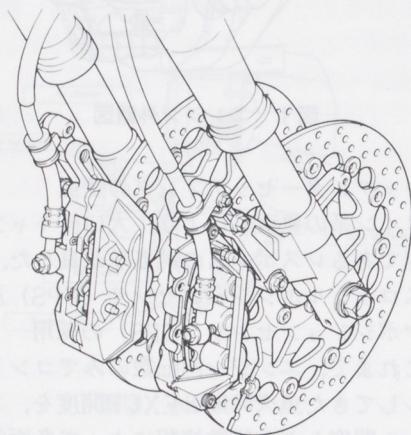


図3 フロントブレーキまわり

'95モデルでは、基本骨格はそのままとし、サスペンション及びカウリング形状の変更を主として実施した。

##### ①フロントフォーク

φ41倒立というスペックはそのままで、バル

ブ、メタル類の見直しにより、作動性、吸収性の改良を行った。

##### ②リヤショックアブソーバ

スーパーバイクレースで実績のある、スウェーデンオーリンス製のユニットを装着した。高い加工精度から得られる極低速域での減衰特性により、ソフトでかつ高い吸収性能を持つ好フィーリングを出している。(図4)

##### ③カウリング

ラジエターへの冷却風の導入効率及び抜け効率向上のため、インナーパネルの設定、アウトレット形状等の変更を実施した。あわせて全体のイメージもより迫力あるものとした。

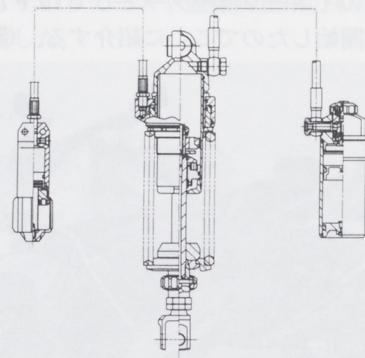


図4 オーリンスサスペンション (SP)

#### 5 SP仕様

スーパーバイク用として、基本ポテンシャルを高いものとするため、以下のSP専用仕様を設定した。

##### ①FCR39キャブレター

##### ②クロスレシオミッシュョン

##### ③一人乗り専用サスペンションレシオ

##### ④スラストベアリング入りピボットシャフト

'95モデルはさらに以下の装備を追加した。

##### ①上下位置可変のピボット構造

##### ②レース仕様共通のオーリンス製リヤサス

##### ③分離式リヤフレーム

#### 6 おわりに

YZF750R/SPは、スーパースポーツの世界に、コーナリングの新しい楽しみを一般ユーザーに提供できたと考えている。今後も、健全なる進化を続けていくことこそ、我々の使命と考え、努力していく所存である。